

# 重点政策項目 3つの創造 2年度当初予算のポイント

## 1 誰もが安心して笑顔で暮らせる社会の創造

防災・減災対策や安心して子どもを産み育てることができる社会の実現、教育のさらなる充実を進めます。

### 建築物の耐震化

5億2,977万円

校区公民館や自治公民館などの耐震化を進める他、旧耐震基準の木造住宅や店舗の耐震改修等に対する補助、危険な状態にあるブロック塀等の除却費用への補助を行います。

### 私立認可保育所等の定員拡大等

7億2,783万円

待機児童解消や安全快適な保育環境整備のため、認可保育所等の施設整備に対し補助を行い、3年4月時点で336人の定員拡大を図ります。

### 新たな小中学校の整備に向けた取組

2億7,229万円

大在地区の小中学校新設や賀来小中学校の一体的な整備に向けた事業手法を検討するとともに、金池小学校の建替や大東中学校の校舎建設など、教育環境の充実を図ります。

## 2 産業力の強化による活力の創造

まちづくりを支える強い基盤をつくるため、中小企業の支援や農林水産業の振興を進めます。

### 中小企業の販路拡大に対する支援

5,521万円

中小企業等に対し、国内外の展示会等への出展に係る経費の補助を行う他、海外販売用パッケージデザインの制作費に対する補助項目等の追加や補助対象期間の延長など、販路拡大に対する支援の拡充を図ります。

### 担い手の確保・育成

2,941万円

農林水産業の新規就業者等に対し、栽培施設の整備や機械の導入等を支援する他、研修や居住等の経費を助成し、担い手の確保・育成を図ります。

### おおいた物産・食・観光魅力発信事業

7,436万円

大都市圏での観光物産展等の開催や「豊後料理」の情報発信等を大分都市広域圏内の自治体と協力して行うことで、物産・食・観光の魅力発信や誘客を図ります。

## 3 次なる時代を見据えた新たな魅力の創造

大分市の特色を生かした中心市街地の魅力向上や地域拠点の機能強化を図り、個性輝く魅力あるまちを創造します。

### 祝祭の広場の機能強化・イベント実施

8,050万円

祝祭の広場へ大型LEDビジョンを設置することで、広場の機能と魅力を高めるとともに、併せて、多彩なイベント等を開催し、中心市街地のさらなる活性化を図ります。

### 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組

1億2,593万円

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に係る事前キャンプ誘致やパブリックビューイングなどの取組をはじめ、大会参加国のウエルグアイやスイス等との交流事業を行います。

### 新たなモビリティサービス事業

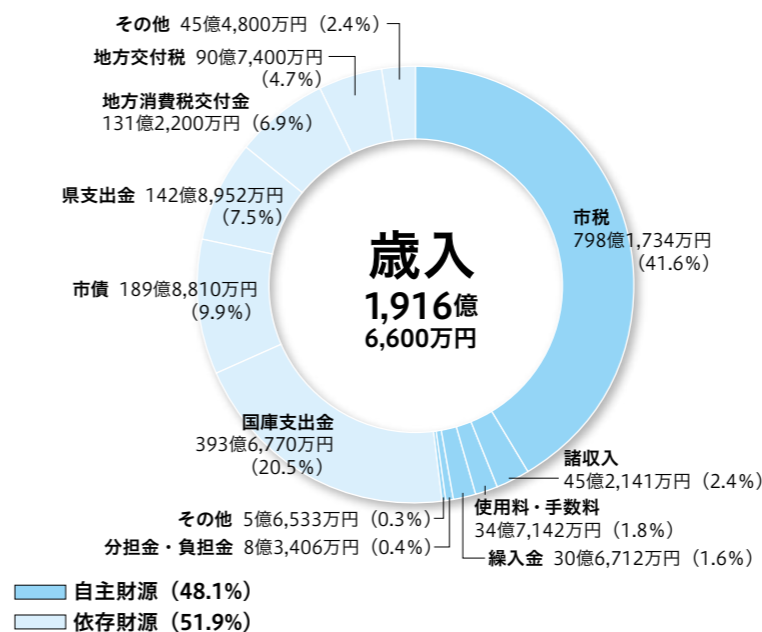
1億2,133万円

低速電動モビリティや自動運転車両の実験運行、車両の購入など、新たなモビリティサービスの創出に向けた取組を行います。

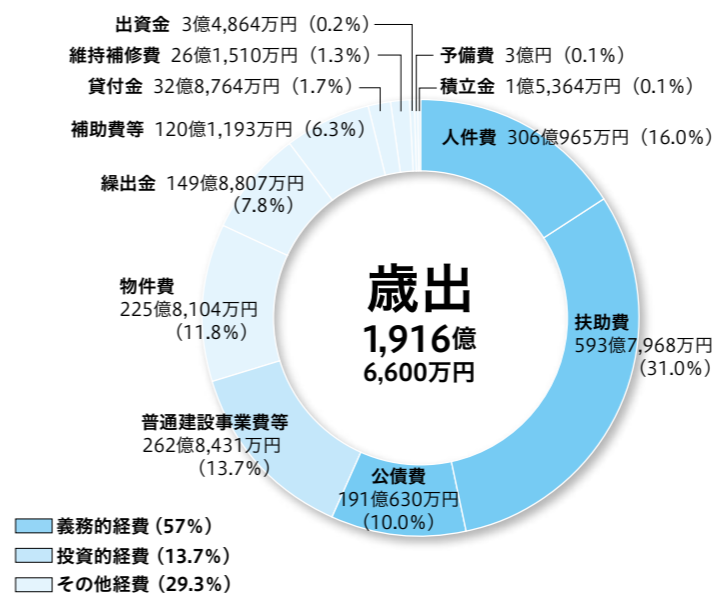
大分市が掲げる「3つの創造」を、国や県などと「連携」しながら「実行」し、魅力あるまちづくりを進めていきます。

一般会計	1,916億6,600万円
市民一人当たり	40万705円

## 一般会計 歳入

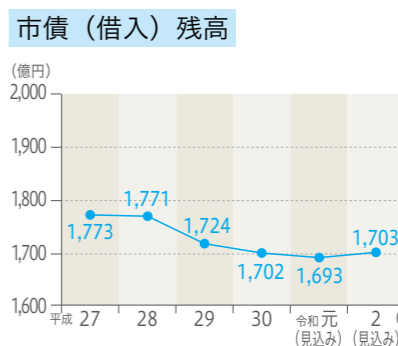


## 一般会計 歳出



会計	予算額
一般会計	1,916億6,600万円
特別会計	967億800万円
国民健康保険	498億8,200万円
介護保険	398億3,900万円
後期高齢者医療	56億8,600万円
公設地方卸売市場	3億3,900万円
その他	9億6,200万円
水道事業会計	174億8,800万円
公共下水道事業会計	253億3,500万円
<b>予算総額</b>	<b>3,311億9,700万円</b>

目的	金額
民生費	823億5,829万円
土木費	229億7,380万円
公債費	191億630万円
総務費	181億4,871万円
教育費	177億6,772万円
衛生費	159億1,763万円
商工費	57億3,679万円
消防費	52億4,266万円
農林水産業費	29億1,417万円
議会費	9億5,501万円
予備費	3億円
労働費	2億3,492万円
災害復旧費	1,000万円



3月5日から開かれた第1回市議会定例会で、2年度の当初予算が決まりました。今回は、その概要と主な事業を紹介します。(数字は概数)

# 2年度の予算が決まりました

財政課 2537・5607